

質問に対する回答について

件名	秋田自動車道 和賀仙人トンネル東工事
----	--------------------

番号	対象ファイル名等	対象ページ	質 問 事 項	回 答
1			連続ベルトコンベアの損料はJRTT積算要領（令和7年版）のトンネル工事用機械損料表を参考に算出されているのでしょうか。ご教示願います。	令和8年10月7日掲載の参考積算条件書をご確認ください。
2			連続ベルトコンベアの運転経費はJRTT積算要領（令和7年版）のトンネル延長1m当りの運転経費の算出方法を用いられているのでしょうか。ご教示願います。	質問番号1のとおりです。
3	【訂正②：再掲載】01 特記仕様書	43頁	避難連絡坑の区分内容にて、「割岩工法」にて掘削する旨の記載がありますが、特許料は計上されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	令和8年9月24日掲載の「質問書に関する回答について⑯」質問番号9に対する回答のとおりです。
4	【訂正②】01 特記仕様書	65頁	工事用道路整備工P(Po-B)・φDについて、特記仕様書の区分内容に「砂(購入品(中古品))」と記載されていたものが訂正されましたが、高密度ポリエチレン管についても砂と同様に新品の購入品と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
5	【訂正②】06_1 設計図【本線：土工部】	70/84	アスファルト舗装版取壊し(TypeA)について、舗装版の切断工の記載がございませんが、必要ないという理解でよろしいでしょうか。必要な場合、詳細がわかりませんのでご教示願います。	切断工については必要ございません。

6	①【訂正②】06_1 設計図【本線：土工部】 ②03 数量計算書【本線】	①71/83 ②283/320	コンクリート構造物取壊し(TypeA,TypeB)について、数量明細表と設計図で異なる集計をされている項目があります。下記2点についてご教示願います。 ・Dc[^](D)-a-b-c取壊しの集計 →数量計算書283頁に「Dc[^](D)-0.80-0.80-0.80取壊し」の行がありますが、設計図より「Dc[^](D)-0.90-0.90-0.90取壊し」の誤りでしょうか。 ・Ds-U[^](D1)-0.30-0.30取壊しの単位数量 → 数量計算書283頁に、単位数量：2.72m³/1m、数量：5.4m³と記載がありますが、設計図より単位数量：2.72m³/10m、数量：0.54m³が正ではないでしょうか。	数量計算書に記載されているDc[^](D)-0.80-0.80-0.80取壊しは06_5設計図【本線：附帯工】16/23岩沢工事用道路にて施工するもので、その数量と費用はコンクリート構造物取壊しTypeA及びTypeBに計上しております。 また、Ds-U[^](D1)-0.30-0.30取壊しの単位数量は、06_1設計図【本線：土工部】71/84に記載のとおりです。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
7	【訂正②】06_1 設計図【本線：土工部】	74/84	FANCE-A(T)の数量表において、ひし形金網の10m当りの数量を、2.53kg/m²*1.4m*10mで算出し、さらに2.53kg/m²を乗じること10m当りの質量(kg)を算出されているように見受けられます。10m当りの数量は1.4*10=14、10m当りの質量(kg)は1.4*10*2.53=35.42ではないのでしょうか。 また、FANCE-SA4(2)(T)の数量表におけるひし形金網、溶接金網においても、同様の計算方法が用いられていると思われる。	FANCE-A(T)の質量について、正しくはひし形金網10m当り35.42kgです。 また、FANCE-SA4(2)(T)の質量について、正しくはひし形金網10m当り35.42kg、溶接金網10m当り13.8kgとなります。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
8	【訂正②】06_4 設計図【本線：のり面工】	13,14,31,34/36	重力式擁壁について、数量表に目地材の記載はされていませんが、正面展開図には目地材が施工されているように見受けられます。 目地材の施工はないものと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	目地材の施工は実施するものとお考え下さい。 なお、交付図書に誤りがありましたので後日訂正いたします。
9	【訂正②：再掲載】04 割掛対象表	38～46頁	「有料道路通行料金費」は、共通仮設費・運搬費・その他の諸料金の「有料道路利用料」に該当すると思われますが、雑工事費扱いということではよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
10	【訂正②：再掲載】05 割掛対象表参考内訳書	3頁	インバート栈橋設備は購入品（中古）と訂正されましたが、新品価格の80%で計上されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	積算に関する内容についてはお答えできません。 なお、土木工事積算基準5.仮設材料費をご覧ください。

11	工事請負契約書	全頁	現在、中東情勢等の影響により、建設資材価格の高騰や納期遅延等が発生しており、本工事においても影響が生じることが想定されます。 これら受注者の責めに帰さない要因により、施工条件等に影響が生じた場合の工期変更及び請負代金額変更に関する考え方についてご教示願います。	契約締結後の取り扱いに関することについてはお答えできません。 契約締結後の回答内容になります。
12	01特記仕様書 28-4-1用排水工	34頁	左記に示される（R）：岩沢本線外仮置き場に仮置きしたプレキャストコンクリートU型側溝については、積算基準上の“支給製品”の取り扱いに該当すると考えますが、特記仕様書にはその旨の記載がございません。したがって本設計においては“支給製品としては取り扱わない”という理解でよろしいでしょうか？ご教示ください。	そのとおりです。
13	ずり処理工		運搬時間を算出するにあたり、2車線以上の舗装道路で標識のない場合、設計運搬速度は以下のどちらを採用しているでしょうか、ご教示ください。 (1) $60\text{km/h} \times 0.8 = 48\text{km}$ とする (2) 30～40km程度として40kmとする	令和8年10月5日掲載の「質問に関する回答について㊹」質問番号2に対する回答のとおりです。